

平成 23 年度第 4 回機器及び安全に関する委員会議事録

日時：平成 24 年 3 月 7 日（水） 17:00～19:00

場所：日本超音波医学会事務局会議室

参加者（9 名、敬称略）：秋山いわき、中谷敏、蜂屋弘之、尾本きよか、近藤隆、桑田知之、高田悦雄、内藤みわ、新田尚隆（記録）

オブザーバ（2 名、敬称略）：鈴木浩之（日立アロカメディカル(株)）、鈴木一弥（財団法人労働科学研究所）

議事

1. 前回議事録確認（資料 1, 2）

- ・ 第 3 回議事録を確認した。

2. 音響放射力の生体への影響検討小委員会報告（資料なし）

- ・ 今年度の成果として、温度測定システムを構築し、ARFI 照射条件を持つシングルショットに対して温度上昇測定が可能になった旨報告された。
- ・ 今後は Viscous heating 抑制、焦点と熱電対測温接点の位置決め方法を検討し、動物実験に移行していく予定。

3. 精度管理手法小委員会報告（資料 5）

- ・ 以下の報告を了承した。
- ・ 公開資料には、JIS T1501:2005 に準拠した性能試験方法の解説を付録として添付する方針。
- ・ 公開資料は医師・検査者向けであり、検査者による精度管理を念頭に、市販ファントムを使って、検査者が検査前もしくは定期的に性能評価するための方法を紹介し、解説する。

4. 「超音波検査者が安全・快適で健康的に働くための指針」について（資料 3, 6）

- ・ 労働科学研・鈴木一弥氏より提言内容の説明がなされた。
- ・ 審議の結果、提言を本委員会として承認した。
- ・ なお、提言での要求の表現として、「します」を「しましょう」に変更することを確認した。
- ・ これを次回の理事会で本委員会から報告することとした。

5. 妊娠早期のパルスドプラ使用に関する WFUMB 会告の公開用文書について（資料 7）

- ・ 公開用文書資料 7 を審議した。
- ・ 審議の結果、委員長が産婦人科委員と調整して、決定することとした。

6. 学術集会におけるアンケートについて（資料4）

- ・ 資料4に基づき、学術集会における超音波の安全性に関するアンケートについて審議した。
- ・ アンケート内容について、近藤委員を中心に内藤委員の協力を得ながらメールで各委員に意見を伺って4月末を目途に作成する。

7. その他

- ・ 次回は5月学術集会中に実施。

以上